

公共放送 NHK を市民の手に
NHK問題を考える会(兵庫)

2009年8月 ニュース NO. 13
神戸市中央区元町通 6-7-6-5F 平和友好センター内
電話・FAX (078) 351-0194

1 頁:「開かれたNHKをめざす全国連絡会」
3 頁:講演会「NHKと政治」長井 暁
4 頁:BPO「意見書」署名の訴え
5 頁:「JAPANデビュー」でNHKに申入れ
7 頁:「坂の上の雲」シンポジウム
8 頁:「坂の上の雲」について永田治良
10 頁:NHK 大阪放送局との懇談会
11 頁:視聴者の声
13 頁:資料

運動のより大きな発展を!

(6/6) 「開かれたNHKをめざす全国連絡会」が発足

6月6日、全国のメディア研究者、視聴者団体の代表が参加して、運動をさらに発展させるための新しい全国組織を立ちあげ、連携していくことを申し合わせました。京都で行なわれた発足会には、34人が参加しました。

「全国連絡会」は、参加団体の自主性を重んじ、一致できる点で運動する、ゆるやかな連絡組織とすることを申し合わせました。



京都での発足会



司会の醍醐 聡さんと
提案者の松田 浩さん

「開かれたNHKをめざす全国連絡会」への呼びかけ

昨年10月、「開かれた経営委員会をめざす会」が行なった、NHK経営委員の推薦運動（賛同署名2061筆）が収束しました。

この会を発展改組して、次の目標をかかげて、より大きな市民運動に取り組むことを全国各地でご協力いただいたみなさんにご提案します。新組織「開かれたNHKをめざす全国連絡会」は、これまでの運動の経験を生かし、新たな共通の目標を実現するための全国連絡組織として再出発します。

各地の皆さんに広く議論をお願いすると同時に、趣旨に賛同する団体・個人の方がたが、この運動に参加してくださることを心から期待します。

(世話人)

松田 浩(メディア研究者・元立命館大学教授)

醍醐 聡(NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表・東大教授)

岩崎 貞明(放送レポート編集長)

隅井 孝雄(メディア研究者・京都ノートルダム女子大学客員教授)

(参加団体)

NHK問題大阪連絡会 NHK問題京都連絡会 NHK問題を考える会(兵庫)

NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ 放送を語る会

「開かれたNHKをめざす全国連絡会」の活動目標

- ① 公共放送・NHKが自主・自立の立場で「放送の公共的機能」を貫けるよう、「視聴者主権」の理念にもとづいて各種の取り組みを進める。必要に応じて見解表明や署名運動、申入れなどを行う
- ② 視聴者・市民に開かれた公共放送に向けて会長・経営委員の公募・推薦運動を引きつづき推進する。また委員選任の公正な仕組みについても改革案を研究、提起する。
- ③ NHKをめぐる国会審議のあり方については、予算・事業計画案の国会提出に先立って与党が審議・承認する放送法逸脱の慣行を廃止させるなど、政府・与党の政治介入を封ずるための方策を追求する。
- ④ 政府・与党による政治介入の根源である現行電波・放送行政の仕組みを変え、政府からの分離をめざして合議制「独立行政機構」などの導入を研究・提言する。
- ⑤ 膨大な数の「テレビ難民」世帯の出現が危惧される2011年7月のアナログ放送一方的打ち切りに反対し、停波時期については、民主的な合意形成を求めていく。
- ⑥ 視聴者・市民の立場から制作者・ジャーナリストの「内部的自由」確立のために尽力し、放送労働団体などとも連携してその実現をはかる。
- ⑦ その他、広く放送の公共性を守るために、必要に応じて、さまざまな取り組みを行う。
- ⑧ 以上の目的を達成するためには、広範な世論と社会的合意の形成が欠かせない。そのために各方面の研究者、職能団体と力をあわせて視聴者・市民の立場に立ったメディア政策やコミュニケーション政策の確立をめざし、シンポジウム・講演会等を通じて広く国民的論議を組織する。

おすすめの本

- ◆ 「NHK－問われる公共放送－」 松田浩著(岩波新書)定価 700 円＋税
- ◆ 「NHK と日本政治」 エリス・クラウス著(東洋経済新聞社)定価 3800 円＋税
- ◆ 「高齢者よ！立ち上がれ！」 井上哲雄著(挿絵・水野雅士) コープ出版(新書版)定価 1050 円 著者は「NHK問題を考える会(兵庫)」会員、神戸市東灘区在住。



放送の自主・自立には独立行政委員会が必要

NHK 元チーフプロデューサー

さとする

長井 暁さんの講演 (7/26)

「NHKと政治」



講演会風景 (こうべまちづくり会館)

7月26日(日)、長井 暁さんの「NHKと政治」と題する講演会を行ないました。かねてから、「ぜひ、講師に」とお手紙をお願いをしていたものです。今回、長井さんがそれに応えてくださったものです。

長井さんのお話を聞こうと、早くから会場は満席でした。

〈 市民集会ではじめての講演、満席の参加者に深い感銘 〉

長井さんは、「NHKの予算編成の仕組みがどうなっているか」について話されました。放送法では国会承認が必要なこと、そこに与党自民党が関わってくる余地があること。この制度は吉田茂(元首相)がつくった。放送の自主・自立を守るためには、独立行政委員会が必要になる。欧米では多くの国がそれを維持していることを話され、今後のNHKの自主・自立のあり方を示唆されました。ETV2001『戦争をどう裁くか』第2回『問われる戦時性暴力』の番組改ざん問題は、予算編成の時期だったことから問題が大きくなった。BPOの意見書が出て会長は「今後、いっさい事前説明はしない」と明言した。これは重要な確かな一歩である。

「関西のみなさんが熱心でありがたい。今後も外部からの厳しい批判と、暖かい見守りをお願いしたい」と結ばれました。

爽やか、明解なお話に参加者は大いにうなずき、感銘を受けました。

会場からは10名近い方から質問や意見が出されましたが、長井さんが丁寧に答えられました。「兵庫の会」も「京都の会」も、長井さんの勇気ある行動から生まれ、運動が発展してきた報告もされました。

参加者の感想

長井さんに会えて感動。

内容の濃い講演会ありがとうございました。

この集会に参加させてもらってよかった。長井さんのお話に感激した。

長井さんのお話は期待以上のもので、満足のいくものでした。

こんなに豊かな人生を力強く歩いておられ感動しました。受信料を拒否していましたが、NHKと話し合い払おうと思います。

「NHKの自主・自立を支援する決議」を採択

集会は最後に、決議文「NHKスペシャル『「ジャパンデビュー」アジアの一等国』に対する右翼の干渉に抗議し、NHKの自主・自立を支援する決議」を採択し、NHK会長とNHK労組に送りました。

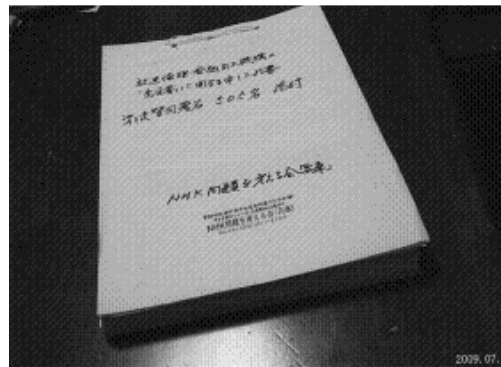
集会では、「NHKはBPOの意見書を誠実に受け止めよ」の署名運動を提起しました。

賛同署名のお願い

7月26日、講演会でBPO意見書に対する「申し入れ書」の賛同署名を呼びかけました。第1次分505筆を添えて、NHK会長に送りました。

ひきつづき、署名運動を続けますので、ご協力下さい。

1. 署名はFAXでもかまいません。FAX 078-351-0194
2. 署名は期限なしですが早めをお願いします。



賛同署名第1次分505筆

NHK会長 福地茂雄 様

ETV2001『戦争をどう裁くか』第2回『問われる戦時性暴力』 放送倫理・番組向上機構の「意見書」に関する申し入れ書

NHK問題を考える会 (兵庫)

神戸市中央区元町通り 6-7-6 5F 平和友好センター内
電話・FAX (078) 351-0194

NHKは「意見書」を誠実に受け入れよ

放送界の第三者機関である放送倫理・番組向上機構（BPO）は、2009年4月28日、NHK番組「ETV2001 シーズ 第2回・問われる戦時性暴力」に関する「意見書」を発表しました。

私たち視聴者はこの意見書に賛同します。そのなかで私たちは、次の点を重要と考えます。

- ① NHKが安倍晋三氏らの政治家に対し、事前に同番組の説明を行なったことや、幹部管理職らが番組改編を主導した行為は、NHKの自主・自律の理念に反し視聴者の信頼を裏切った。政治と放送の距離においてNHKを支えている視聴者にもはっきりと認識できる透明性の高い仕組みと自覚が求められている。
- ② NHKが「閉じた態度」を改めること。そのために現場制作者の放送人としての良心、放送倫理と内部的自由の議論を深め、この問題で得た教訓を、受信料を払っている視聴者へていねいに明らかにすること。

しかし、NHKの見解は、BPOの意見書を表面では「真摯に受け止める」といいながら、「政治的圧力を受けて内容を改変したり、国会議員等の意図を忖度して内容を改変した事実はない」と否定している面従腹背の姿勢には納得できません。NHKはかたくな態度を改め、局内では内部的自由の確保と視聴者には誠実な、開かれたNHKとなることを期待します。

<申入れ事項>

- ① NHKはBPOの「意見書」を誠実に受け止め、実行すること。
- ② 改編前のテープを公開し、番組に対する検証を行い、その教訓を視聴者に明らかにすること。
- ③ 番組の改編を告発した長井暁デスク（当時）と裁判で真実を証言した永田浩三チーフプロデューサー（当時）を現場からはずした不当配転の誤りを認め、名誉回復をはかること。

おなまえ	おところ